

やさいレポート（令和8年2月号）



にんじん



発行日：令和8年2月6日

1. 卸売価格の動向

○147 円/kg（2月3日）

➢ 平年比：113%

○2月の価格見通し

やや平年を上回って推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○446 円/kg

（1月9日全国平均）

➢ 前月比：96%、平年比：121%

➢ 東京：229 円（3本）

➢ 大阪：226 円（3本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：4/20（前月 5/20）

➢ 大阪：6/10（前月 3/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○275g/人（12月全国平均）

➢ 前月比：129%

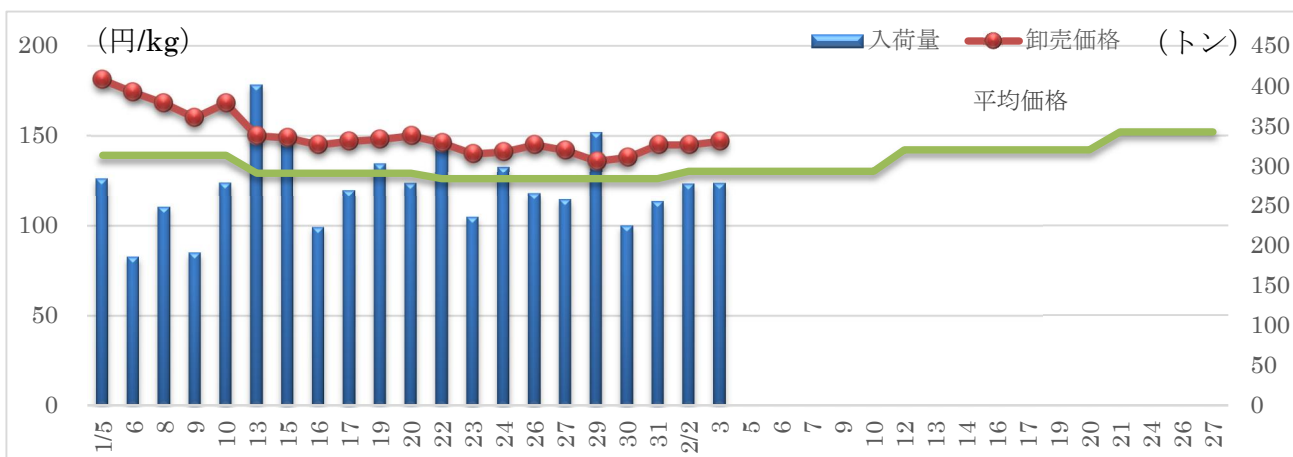
➢ 前年同月比：105%

○2,556g/人（2024 年年間）

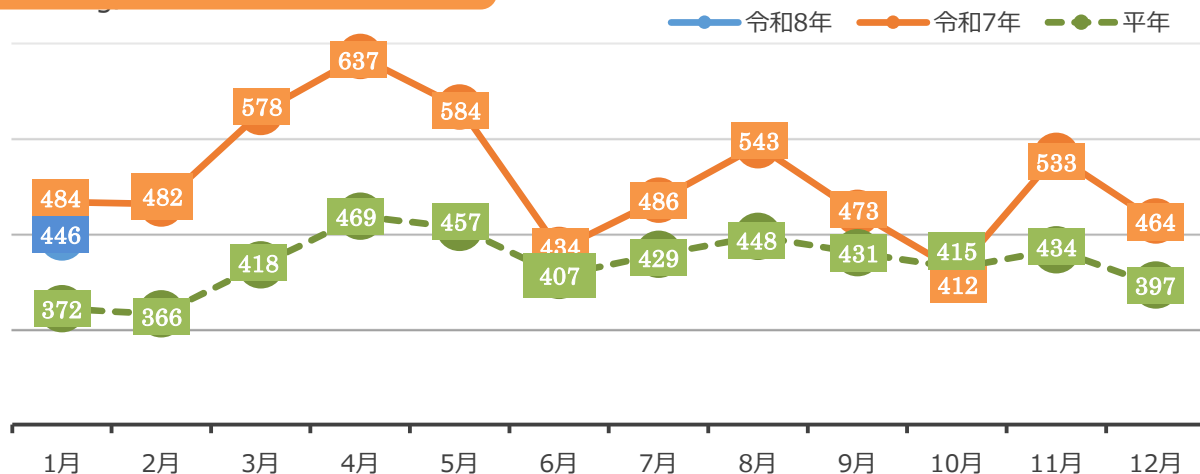
➢ 前年比：97%

（総務省統計局家計調査）

4. にんじんの入荷量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



5. にんじんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
茨城県鹿島 (1/21)	前年並み	豊作	平年並み	平年並み
静岡県大城 (12/5)	前年並み	平年並み	平年並み	－
愛知県碧南市 (1/20)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み
徳島県吉野川流域 (12/8)	前年並み	平年並み	平年並み	－
沖縄県糸満 (12/16)	前年並み	平年並み	遅い	－

※特記ない場合は平年比。() 内は調査日。

(機構調べ)



愛知県碧南：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (2/7~3/6)

		週別の天候		
2/7~2/13	北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。			
	北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
2/14~2/20	東・西日本太平洋側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。			
	沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
2/21~3/6	北日本太平洋側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。			
	北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
	東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
	沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少40 並30 多30% 確保平年並の見込み	少30 並30 多40% 確保平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% 確保平年並の見込み	少30 並40 多30% 確保平年並の見込み
東日本	日本海側	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み	少40 並30 多30% 確保平年並の見込み	少30 並30 多40% 確保平年並の見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
西日本	日本海側	低30 並30 高40% 確保平年並の見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮にんじん)

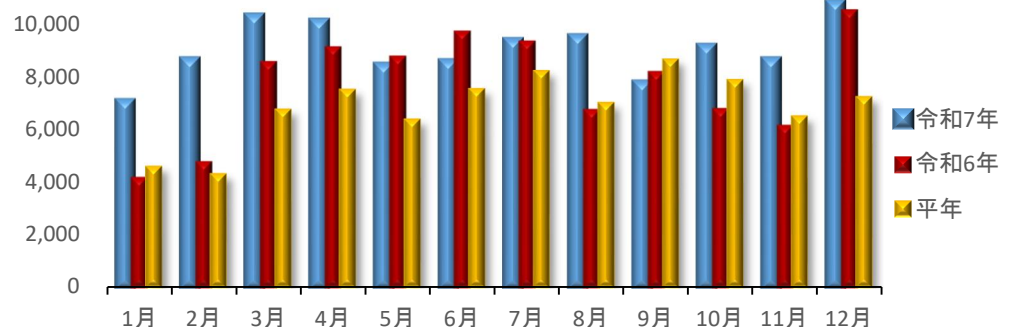
○10,789トン (12月輸入量) 12,000 (トン)

➤ 前年同月比：103%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 10,563トン
- 2位 豪州 215トン
- 3位 米国 11トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

1月は、千葉産を中心に埼玉産の入荷もあった。夏場の播種時期の高温により生育がまばらだったことや、10月以降の低温、曇天で細物傾向となり価格は高値で推移した。

2月は鹿児島産も入荷してくる。千葉産は生育初期の乾燥から短根傾向、鹿児島産は高温や生育期の乾燥により細物傾向。出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回る見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課